

ドックを受診する際には結果説明をご利用ください

結果説明は、当日結果がでている範囲で医師が直接説明を行います。

～当日、結果をお伝えできる主な検査項目～

- ・生活習慣病（糖尿病、コレステロール、血圧、尿酸値など）
- ・貧血、腎機能、肝機能などの採血
- ・尿検査
- ・内視鏡
- ・心電図



聞いていただくことで、精密検査や治療が必要なものなども含め結果への理解が明確になります。

また、生活習慣についてアドバイスを受けることも可能です。他に、今後の健診オプションをどのように受けるかといった点を相談することもできます。

人間ドック学会でも、質の高い健診の条件として「当日結果説明を受けること」を推奨しています。

是非、ドックを受診する際には結果説明をご利用ください（昼食後、午後1時より順次ご案内いたします）。

オススメ!

健康管理センターの馬嶋医師に結果説明についてお話を伺いました。



Q: 「ドックの結果説明を受けるメリットについて教えてください」

A: 医師：精密検査や治療が必要なものは、適切に受診できるようにアドバイスしています。診療科や受診時期なども明確になりますし、結果説明後に受診予約もしています。

例えば、中高年の男性に貧血があった場合は、若い女性の鉄が足りない貧血と違って癌などが隠れていることがあり、必ず受診するように促します。同じ結果でも個々に重要性が異なります。このような点が明確になると思います。

Q: 「生活習慣病についてはどうですか？」

A: 生活習慣病（高血圧・肥満・糖尿病・脂質異常症など）は自覚症状がなく進行していきます。薬物治療には至らない段階の異常でも、生活習慣の改善が必要となります。例えば、悪玉コレステロールが高めな方は、食生活や運動などの生活習慣について具体的に説明するように心がけています。

Q: 「オプション検査をどう受けるかの相談もできますか？」

A: 気軽に相談してください。例えば、喫煙歴から判断して肺がんのリスクが高い方に肺CT検査を毎年お受けいただくことをご提案できます。また、今までの胃カメラ結果や生活習慣から考えると胃がんや食道がんのリスクは低いので、「胃カメラは毎年する必要性は高くないです」などと助言することができます。